

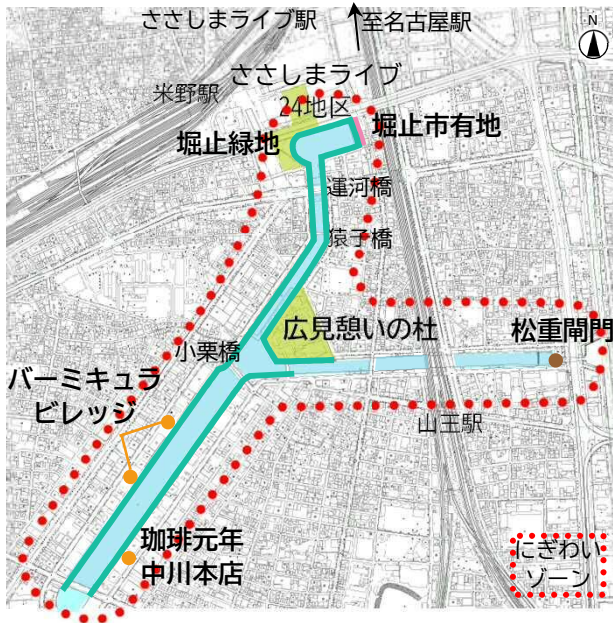
中川運河の再生

リニア中央新幹線開業を見据えたまちづくりと連携し、
運河の魅力と回遊性を高めます！

【にぎわいゾーン】

運河の歴史や文化・芸術を楽しむ市民活動の継続的な実施を通じ、都心地域に
集まる人びとが訪れたいくなるようなエリアの形成を目指す。

(令和5年10月 中川運河再生計画更新版 策定)



堀止地区での拠点づくり

市有地を活用し、水上交通と連携したにぎわい施設の民間事業者の公募を行い、令和5年9月に事業者を決定。大屋根やホテル、広場等を整備し、令和8年3月までに開業予定。



松重閘門の保存・活用

かつて堀川との船での行き来に使用されていた松重閘門。昭和43年に閉鎖されたが、市民の強い要望を受けて水門塔を保存しており、夜間はライトアップを行っている。現在、閘門の利活用に向け検討を行っている。



市民交流・創造活動への支援

中川運河を舞台に様々な人が多彩なアートプログラムを展開。アートへの助成事業「ARToC10」を実施し、地域の人々がアートの創作活動に参加するなど、つながりも生まれ、継続的な事業展開を促進。

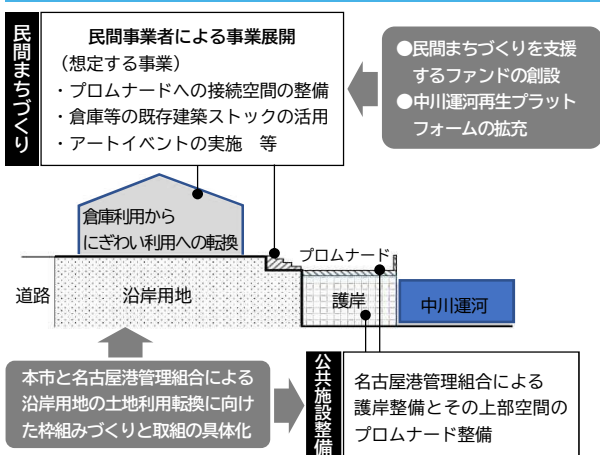


にぎわい施設の誘導

中川運河の沿岸用地を活用し、にぎわい施設を誘導。水辺にレストランや喫茶店などが徐々に立地し、運河を眺めながらゆったりと過ごすことができる。



官民連携まちづくりの将来イメージ



緑地・プロムナードの整備

水辺への緑地の整備や水環境の改善を実施。親水性や回遊性を高めるため、にぎわい施設や緑地をつなぐプロムナード(遊歩道)・アクセス整備に着手。



【今後の動き】

中川運河再生計画更新版に基づき、にぎわい施設の誘導を図るための具体的な方策の整理や、水辺を活かした民間まちづくりに対する新たな支援制度の構築・運用を行う。

担 当 名古屋市 住宅都市局 都市整備部 名港開発振興課

市webサイト <https://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-10-11-0-0-0-0-0-0-0.html>

